



■京都市交通局商品化許諾済

Blu-ray Disc ANRW-72057B / 本編約 91 分 **4,950 円** (税込)
DVD VIDEO ANRW-72056 / 本編約 91 分 **3,981 円** (税込)

- 撮影日 / 2023 年 11 月 10 日 (金)
- 区間 / 六地蔵 (9:22 発) ⇒ 太秦天神川 (9:57 着) 50 系 10 編成
- 撮影日 / 2023 年 11 月 22 日 (水)
- 区間 / 太秦天神川 (10:01 発) ⇒ 六地蔵 (10:34 着) 50 系 17 編成

■ 本編の概要 ■

京都市営地下鉄東西線は、六地蔵から太秦天神川を結ぶ路線です。六地蔵から山科までは南北に走り、山科か蹴上にかけては、山を迂回するようにカーブしている。蹴上から太秦天神川までは市内中心部を東西に走り、全区間が地下トンネル内です。すべての駅にホームドアが設置されており、各駅ごとにステーションカラーと呼ばれるシンボルカラーが選定されているのが特徴です。運転士の喚呼音、運転室の操作音を収録しています。

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

*本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



発車前の六地蔵駅ホームで指差確認し、乗務に臨む運転士。



六地蔵を発車。東西線はすべての駅にフルスクリーン式のホームドアが設置されている。



セパレート式の特徴的な地下トンネルが続く。(石田～醍醐)



御陵を発車すると、右から京阪京津線が合流してくる。



三条京阪に到着。この駅のシンボルカラーは「牡丹色」である。



京都市役所前で折り返す便もあるため、西方に引き上げ線がある。(京都市役所前～烏丸御池)



複線トンネル区間では、対向列車とのすれ違いも見られる。(西大路御池～太秦天神川)



終点の太秦天神川に到着。折り返して、六地蔵へと向う。



京津線を分岐する構造上、御陵の六地蔵方面行きの乗降口は左側となる。(他の駅は全て右側)



六地蔵に到着。この後、醍醐車庫に入庫するため、回送列車として運転される。



本線から分岐して、醍醐車庫への入庫線を進んで行く。この先は営業列車では体験できない。(醍醐～小野)



地下2階にある、醍醐車庫検車場に到着。醍醐車庫は、50系を19編成留置できる規模だ。